

資料

ICT利活用地域イノベーション委員会

2025年11月6日

**2025年度**

**地域DX・自治体DX推進検討ワーキンググループ  
「自治体における生成AI活用推進サブワーキング」(仮称)  
設立計画**

**2025年11月6日**

**ICT利活用地域イノベーション委員会  
地域DX・自治体DX推進検討ワーキンググループ**

## 1. 2025 年度の活動の背景と方針

地域 DX、自治体 DX 推進検討ワーキンググループは自治体職員、DX 関連企業の共創による地域課題解決、自治体 DX・地域 DX 推進のために必要な取り組みを実践するワーキンググループとなっている。その配下にサブワーキンググループを立ち上げ、生成 AI をテーマとしたワーキング活動を実施する。

昨今、自治体における生成 AI 活用が活発化しており、公共的サービスの維持・向上による地域社会 DX の推進と自治体(職員)業務の効率化を生成 AI で加速するため、自治体職員や地域住民が公共的サービスで利用する生成 AI エージェントの整備・活用等を当面の中心テーマとして以下の体制で検討を開始する。

自治体の AI 活用事例、課題等を迅速に共有できるよう官民一体の体制とし、サブワーキングの活動結果は会員間での情報共有に加え、関係省庁への橋渡しができる活動を目指す。

## 2. 2025 年度の活動目標

サブワーキング設立初年度は体制の確立と検討テーマの絞り込みを目的とし次の活動目標を定める。

- 会員募集、サブワーキング体制の確立  
(主査、オブザーバー、アドバイザー、会員)
- 導入事例の把握、課題まとめ
- 事業者からの情報提供とアドバイザーコメント
- 省庁からの情報提供とオブザーバーコメント
- Future 誌への記事掲載
- Japan CDO Community(JCC)会員との情報交換

## 3. 2025 年度の活動スケジュール

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
募集開始	→	1 回目 SWG		2 回目 SWG	イノベ委 員会報告
		JCC 連携 会議			
		主査選出	Future 誌		
省庁連携	→	→	→	→	→

※ 2026 年度以降も継続活動とする。

## 4. 成果物

二段階の検討テーマ単位に成果物を設定し、サブワーキングの成果を APPLIC 会員に事例として公開する。

(1) 第一段階「職員ナレッジを活用した AI エージェントの整備」

- 各自治体計画および実装状況まとめ  
(法律、政省令、通知、ガイドライン、条令、規則のナレッジ化計画)  
(生成 AI 活用のためのシステム構築状況)
- 民間事業者、省庁からの情報提供まとめ
- Future 誌掲載記事

※今年度に着手し来年度への継続活動とする。

(2) 第二段階「地域住民が公共的サービス等を円滑に利用するための AI エージェント」

- 第一段階の成果物に準じた成果物設定
- Future 誌掲載記事

※第一段階、第二段階の成果物が官民一体となって制定した全国の標準モデルとなるよう取り組み、最終的に社会実装・横展開を目指す。

以 上